

2006年度国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）協力事業
中華人民共和国国家知識産権局（SIPO）への技術説明会
開催報告

2006年12月19日
IIPPF事務局（ジェットロ）

．開催までの経緯

今回の技術説明会は、本年6月の官民合同ミッション¹における日本の基本的交渉スタンスである「協力と要請」の成果として実施。

政府および国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）は、国家知識産権局（SIPO）における審査促進の一助とするため、06年6月の官民合同ミッション派遣前にIIPPF関係企業・団体に対してアンケート調査を実施し、我が国企業が説明可能な技術分野を抽出。SIPO側が「液晶表示装置」および「液晶プロジェクター」の技術説明会を希望し、今回に至った。

．結果概要

別紙の要領のとおり12月8日（木）に9：00～16：30にかけて北京のSIPOにて、セイコーエプソン株式会社およびNECビューテクノロジー株式会社が技術説明会を実施した。結果は以下の通り。

1．概要

「迅速な審査促進の一助とする」というスタンスのもと、説明会を担当する企業、IIPPF事務局、SIPOと日本側の連絡調整窓口である北京センター知的財産権部を中心に、可能な限りSIPOの希望に沿う説明会を実施。

SIPO側参加人数は計160名。連絡窓口であるSIPO国際合作司の副司長（日本の役所における次長級）自らが参加し、会場に吊り看板を用意するなど、中国側も同説明会を重視。

SIPOホームページに当日配付資料を掲載し、全国のSIPO職員が閲覧可能となる予定。

2．主要活動

（1）液晶表示装置説明会（セイコーエプソン株）

担当部長自ら説明。同分野におけるポイント説明を懇切丁寧に実施。説明後には若

¹ 派遣母体は国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）。座長：宗国旨英ホンダ特別顧問、副座長：渡辺理事長、事務局：ジェットロ。メンバーは190社・団体（企業105、団体85）。詳しくは、<http://www.iipf.jp/index.html> 参照。

干的外れと言える質問（例えば「他国A社企業の技術は知っているのか」など）も出されたが、総じてレベルの高い質問であり、当事者レベルでの応答となった。

同分野における満足度は91%（有効回答数57、うち上位2項目52）

- (2) 液晶プロジェクター技術（セイコーエプソン株、NECビューテクノロジー株）
両社とも長年液晶プロジェクター技術分野を担当した方自ら説明。同分野におけるポイント説明を懇切丁寧に実施。説明後の質疑応答も活発に行われた。

同分野における各社ごとの満足度は

セイコーエプソン株 87%（有効回答数47、うち上位2項目41）

NECビューテクノロジー株 85%（有効回答数47、うち上位2項目40）

3. 参加者、総合満足度アンケートおよび次回継続希望結果

参加者数 約160人（午後は60名）

アンケート結果 総合評価：4段階中上位2項目83%

（有効回答数59、うち上位2項目49）

次回継続希望結果 継続希望：97%（希望する57、希望しない2）

4. 備考 [技術説明会風景（別添）](#)

以上